

主な出来事

【内政】

- ジャン・ピンによる「レジスタンス・ガボン議会」の結成
- ジャン・ピンによる「新共和国のための連盟」結成
- ンゴンデ首相による優先政策の発表
- 新党ACRの結成

【外政】

- トーゴ大統領による当地訪問
- ルワンダ大統領による当地訪問
- UNOCA特別代表の当地離任

【経済】

- 閣議による2017年予算案の承認
- ガボン国債の格付け「B+」（フィッチ・レーティングス）
- CEMAC市場への国債発行：205億CFAフラン

【内政】

1 ジャン・ピンによる「レジスタンス・ガボン議会」の結成

大統領選挙野党候補のジャン・ピンは、アリ・ボンゴ政権に抵抗するため、「レジスタンス・ガボン議会（CGR）」を結成した。（10日付GR）

2 ンゴンデ首相による優先政策の発表

13日に開かれた閣議において、イソゼ・ンゴンデ首相は、新政権の優先課題として政治・経済・社会を柱とする100日計画を発表した。同計画には、パリ協定の批准、政治対話の実施、アフリカ・ネーションズ・カップに向けたインフラ整備、道路建設等が盛り込まれている。（14日付UN, 14日付GR）

3 新党ACRの結成

15日、ブルーノ・ベン・ムーバンバ・ガボン国民連合（UPGMブンバ派）は党大会を開催し、新党「変革及び刷新のための同盟」（ACR）を結成した。（15日付UN, 14日付GR）

4 Dynamique Unitaireによる包括的対話の要求

市民運動「Dynamique Unitaire」は、選挙後の危機を乗り切るために、国際社会の監視のもとでの包括的対話の実施を要求した。（16日付GR）

5 ジャン・ピンによる「新共和国のための連盟」結成

15日のアリ・ボンゴ大統領の第1大統領任期終了日、ジャン・ピンは、8月に実施された大統領選挙の真実を追求するため「新共和国のための連盟」を結成した。（16日GR）

【外政】

1 トーゴ公共政策・労働・行政改革大臣によるガボン訪問

11日、アリ・ボンゴ大統領は、トーゴ大統領特使のパワラ公共政策・労働・行政改革大臣と会談し、アフリカの海洋安全保障、海上安全及び開発に関するアフリカ連合（AU）臨時首脳会合等について意見交換を行った。（12日付UN）

2 トーゴ大統領による当地訪問

18日、ニヤシンベ・トーゴ大統領はガボンを訪問し、アリ・ボンゴ大統領と二国間関係の強化及びギニア湾海上安全保障について意見交換を実施したほか、15日に開催されたアフリカの海洋安全保障、海上安全及び開発に関するアフリカ連合（AU）臨時首脳会合の成果について意見交換を行った。（19日付GR）

3 ルワンダ大統領による当地訪問

28日、カガメ・ルワンダ大統領はガボンを訪問し、アリ・ボンゴ大統領と二国間関係強化について議論したほか、産業発展及び情報通信新技術に係る両国の共同綱領の実施について協議した。（28日付UN）

4 UNOCA 特別代表の当地離任

31日、2017年1月に予定されているAUC委員長選挙へ立候補を表明しているバティリー国連中部アフリカ地域事務所（UNOCA）特別代表は、当地離任にあたり記者会見を開き、中部アフリカ地域及びガボンにおけるこれまでの同事務所の活動について総括した。（11月2日付UN、1日付GR）

【経済】

1 モ・イブラヒム財団によるアフリカ統治指数：ガボン第32位

2016年モ・イブラヒム財団アフリカ統治指数によれば、ガボンは、52か国中32位（48.8ポイント）であり、前年の23位から下落した。（9日付GR）

2 インコク経済特区：印・木材加工工場の参入

Evergreen, Touchwood 及び Akachi の印・木材加工工場3社が新たにインコク経済特区に参入し、同地区にて製造を開始している企業数は18社となった（うち木材加工工場が9社、製鉄・精錬工場が5社、化学工場が2社、建設工場が2社）。（8日付UN、9日付GR）

3 閣議による2017年予算案の承認

13日の閣議において、総額2兆4,775億CFAフラン（約37億ユーロ相当、前年比1,485億CFAフラン減）が承認された。固有財源総額は1兆8,584億CFAフラン（前年比1,855億CFAフラン減）になり、石油関連収入は4,786億CFAフラン（前年比1,221億CFAフラン減）、その他収入は、1兆3,798億CFAフラン（前年比634億CFAフラン減）となる。投資額は、3,921億CFAフランで、インフラ開発及び経済の近代化・産業化政策の推進に用いられる予定。（14日付UN、14日付GR）

4 リーブルビル空港整備

ムフム・オンド交通・物流大臣は、リーブルビル空港代表との間で、同空港の拡大化・近代化のための総額400億CFAフランの投資協定の署名について協議した。(17日付UN)

5 ガボン国債の格付け「B+」(フィッチ・レーティングス)

フィッチ・レーティングは、油価下落による歳入減により2016年末には国債がGDP比48%、2018年には50%に到達するとして、ガボン国債を「B+」に維持した。(17日付GR)

6 2016年の新車販売状況

2016年のガボンにおける新車販売台数は、2013年の5,094台から50%減の2,600台となる見込み。油価下落及び国家予算の収縮により、2015年の新車販売台数は3,345台にとどまった。自動車市場のうち80%以上をトヨタ、三菱、ニッサン及びマツダ等による日本車が占め、Sogafric及びCFAOがガボン新車売上高の90%を占めている。(18日付UN)

7 ンコク経済特区：アフリカ大陸第3位

FDIインテリジェンス誌は、ンコク経済特区がタンジェ(モロッコ)、ポール・フラン(モーリシャス)に次いでアフリカ大陸における第3位の経済特区である旨発表した。(19日付GR)

8 CEMAC市場への国債発行：205億CFAフラン

19日、ガボン政府は、中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)市場に対して、新たに金利4~5%の計70億CFAフランの国債発行を決定した。同国債発行により、国債発行総額は205億CFAフランとなる。(19日付UN)

9 Rougierによる2016年上半期決算の発表

仏木材会社Rougierは2016年上半期決算を公開し、前年に比べ9.3%減の7,850万ユーロとなる旨発表した。(20日付GR)

10 アフリカ開発銀行：緑のガボン支援

イモンゴ・タタガニ経済・計画・開発計画大臣及び当地アフリカ開発銀行代表は、「緑のガボン」政策に向けて9億8,500万CFAフランの支援協定に署名した。同支援は、持続的な雇用による経済成長を通じた貧困・社会的不平等の削減に用いられる。(21日付UN, 21日付GR)

11 水力発電所建設計画

21日、マパング水・エネルギー大臣及びイモンゴ・タタガニ経済・計画・開発計画大臣の立ち会いのもと、ガボン戦略投資基金(FGIS)及びEranoveグループは、Ngoulmendjim及びDibwanguiにおける水力発電所建設に係るコンセッション契約を締結した。Ngoulmendjim及びDibwangui水力発電所の発電能力及び年間予想発電量は、それぞれ73MW, 500GWh, 15MW, 90GWhとなる。(24日付UN, 24日付GR)

12 ビジネス環境ランキング：ガボン第164位

2017年ビジネス環境ランキングによれば、ガボン は前年より3位下落し、世界第164位、アフリカ大陸第36位を記録した。(27日付UN, 26日付GR)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリーブル電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP 紙),EN(エコ・ノール紙)